

循環器内科 成人先天性心疾患外来開設について

はじめに

医学の進歩により、先天性心疾患をもって生まれた方の 95%は成人に達することができるようになりました。従来、成人になられた先天性心疾患（ACHD）患者さんの管理は、小児循環器科医を中心に行ってきましたが、成人特有の疾患（例えば生活習慣病）が合併することがあることや、再手術が必要な場合があることから、2019年度より循環器内科・心臓外科とともにチームを組んで新たな体制での診療を開始しました。

また、当院は日本 ACHD 学会の総合修練施設に認定され、ACHD 診療の中核施設としての役割が期待されています。地域の ACHD 患者さん受け入れのため、循環器内科 ACHD 専門外来を 2020 年 4 月より開設します。

循環器内科 ACHD 外来の対象

対象は先天性心疾患をお持ちの高校生以上の患者さんで、定期的・継続的に通院が必要な方です。当院の小児循環器科に通院していた方の他、小児専門病院など他院で管理を受けられていた方も対象とします。当院初診の方は紹介状をお持ちになって受診してください。

循環器内科 ACHD 外来の診療内容

循環器内科医が日常の診療を行います。定期的に小児循環器科医、心臓血管外科医と合同のカンファレンスを行い、適切な治療について検討していきます。ときには麻酔科医、産婦人科医、心療科医などが加わり、総合病院としての利点を活かし、チームを組んで診療にあたります。

循環器内科 ACHD 外来の診療日時

毎月第 2 月曜（休日の場合は第 3 月曜）の午前中

循環器内科部長、副院長 加田 賢治

小児循環器科部長 大橋 直樹

心臓血管外科部長 櫻井 一

令和 2 年 3 月 25 日